**1月31日　NPO法人　The F.U.N.代表　元東急ホテルズ株式会社会長　梅原　一剛　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

今の時代に求められている人、「無から有を創造できる人」という言葉がとても心に響いた。最初に喝を入れられた「一生懸命に学ばなければならない」ということは経営者のあるべき姿、常に周りの状況を判断し先を見通す力を持続し続けなければならないのだと思った。世界や日本を取り巻く状況に危機感を持たないといけないのだということもわかった。講演の内容全体を通して人生設計や人生の方向性、自分に対しての一生の経験を通しての話はとても説得力があり、これからやらなければならないことを浮き彫りにされているような気がした。(経営学部　経営学科　1年)

今の日本が衰退していてもう一度成長するためにはアントレプレナーシップが必要だという意見には非常に共感しました。その上で日本の強みを生かした企業が今後の日本を支えていくことを学びました。また、日本の強さとは何？という考えるネタが増えました。常に頭を回して考え続けていきたいと思います。結論が僕は正反対でした。人間結局利己的な生き物だと思っています。働くこと、生きることが楽しいと理論で言われても納得いきません。僕は楽しく生きるために、幸せになるために働くのだと思います。（経済・国際経済1年）

私は「business　communication」という授業を受講していて、そこで、対話相手の「Under　The　Ground＝見えない価値観」を大切にするように言われていた。経営・運営にとっても、結婚にとっても、自分の理念（価値観）というものが大きな意味を持っていることが本日の講義で確信できた。ベンチャーが新しい方法で新しい価値を作っているという印象はあったが、就職しても会社内で一人一人がベンチャーと同じような心構えで仕事に向き合っていくことが大切なのだろうなと感じた。（経営学部・経営システム科学科・１年）

他の講演して下さった方々とは違い、全てのベンチャー企業に通ずる普遍的な話をしてくださったため、興味を持って聞くことができた。Career design=Life Designではないという考え方は、非常にこれから生きていく上で重要であると感じた。確かにこれからの生活において、仕事は大きな位置を占めるであると予想できるが、大事なのは、人生を通して自分が何をしたいかであるとも理解できた。(経営学部・国際経営学科・1年)

小さくからでもいいので、リーダーとして行動することが大切だと思いました。あと、経営者と運営者の役割は異なり、経営者には才能が必要でビジョンや信念、ミッションを持つことが大切で、運営者には実践プランを作ることなど個々人に自分が何かをしなければならないということを聞いて、なかなか専門的であると思いました。これからの時代は０から１を作ることが大切であると思いました。日本の新卒一括採用は全員一緒のレベルと錯覚してしまい、高い能力の人でも未熟な人のレバルまで落ちてしまうと言っていたのはとても納得しました。やはり自分もレベル別に分けた環境にいることが大切だと思っています。日本のこれからの経営にはこれまでのやり方は通用しなく、経営の論理的手法を用いることが大切だということを学びました。（経営学部　経営学科　１年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

小さく始める、一人でも始められるという考え方が仕事のみならず趣味を含む大多数の分野でも生かせるようにならなければならないと思いました。また、就社という安易なキャリアデザインに落ち着くだけでなく、NPOやNGO、ベンチャービジネスにも視野を広げていきたいと思いました。(経営学部　会計・情報学科　1年)

感性を磨くことが大切で、本物に触れていくべきと仰っていたので、伝統や歴史のつまった本物といえるものを多く見ていきたい。また、自分が何かを変えるんだという意識をうまく持ち、少しでも新たな価値を創造できるよう行動していきたい。（経営学部・経営学科・1年）

**授業スタッフの感想**

今回講演してくださった梅原氏がおっしゃっていた、「無から有を作り出す」という言葉は非常に印象に残りました。というのも、「無から有を作り出す」、すなわち、「無価値のものに価値を見出す」、または、「今までにない全くもって新しい価値を生み出す」ことはビジネスを成功させるうえで非常に重要なことであり、これをできる人を求めるという梅原氏の言葉は非常に納得できたからです。今回のアンケートの中でも多くの人がそのことについて関心を示しており、共感できた人や学べた人が多かったのだろうと思いました。自分もこれから歳を重ね、社会人として外の世界に出る時、この「無から有を作り出す」精神をしっかりと意識していきたいと思いました。

ベンチャーは持続可能かつ魅力的でなければならないと知りました。また、経験は一生ものであり、社会に出て、会社に入ったら、学ぶ経験はもちろん必要なことです。けれど、グローバルな産業ではどういうものを知っているかということが、今後生きていくうえで大いに生かされていくということを学びました。今から、私達に求められることは、無から有を創り出す力であり、それはイノベーションの力であることを知りました。ライフキャリアを考えることもイノベーションの一つであると分かったので、今後そういった力を身につけていきたいと思いました。